

## ローズホテル横浜 全国で現存数台の内1台 T. A. LEE-PIANO (李ピアノ) を展示

2018年3月7日(水)から

ローズホテル横浜(横浜市中区山下町7番地/総支配人 李宏道)では横浜華僑により製造された李ピアノを横浜開港資料館 主任調査研究員 伊藤泉美氏のご紹介で持ち主より譲り受け、ローズホテル横浜1階ロビーに展示を開始致します。

- 展示場所 ローズホテル横浜1階 ブライダルサロン
- 搬入 2018年3月6日(火)
- 展示開始日 2018年3月7日(水)より展示開始
- ※ブライダルサロンは10:00~19:00 但し外部からの見学は終日可能

李ピアノについての詳細は下記の通りです。

(2018年3月 横浜開港資料館 主任調査研究員 伊藤泉美氏より)

T. A. LEE-PIANO (李ピアノ)

- 製作地：横浜
- 製造番号：2503
- 制作者：李兄弟ピアノ製作所
- 修理年(塗替等)：1990年
- 製造年：1920年代末から1930年頃
- 寄贈者：中山あおい氏



このピアノは1920年(大正9)から1945年(昭和20)まで、横浜市堀ノ内町(現同市南区)に所在した李兄弟ピアノ製作所で作られた一台である。李兄弟ピアノ製作所は中国浙江省鎮海県(現浙江省寧波市鎮海区)出身の李佐衡(りさこう)と弟の李良鑿(りりょうかん)が創設した会社である。幕末に外国人居留地が開かれた横浜では、イギリス系やドイツ系のピアノ製造会社とともに、周興華洋琴専製所(周ピアノ)や李兄弟ピアノ製作所(李ピアノ)など、中国人のピアノ製造会社も存在した。彼らは上海でピアノづくりの技術を学び、横浜に進出してきた人びとである。李家と周家は同郷の姻戚で、李佐衡は周家を頼って来日し、周ピアノで修行の後、独立開業した。

このピアノは製造番号から1920年代末から1930年頃に製作されたと考えられるが、製造番号の刻印箇所などに周ピアノの影響が認められる。鍵盤蓋の内側に「T. A. LEE-PIANO」の銘があり、また内部の金属フレーム上にも同社の銘とトレードマークが見られる。アクション(打弦装置)はベルリンのレクソール(Lexow)社製である。鍵盤は85鍵。1990年頃に静岡市在住の中山あおい氏がこの中古ピアノを購入した際、修理がなされた。修理以前のケースは黒塗りで、この時、弦やチューニングピン等の部品を交換したため、ピアノの音はオリジナルとは異なる。

李兄弟ピアノ製作所は第2次大戦中の1945年4月の空襲で焼失廃業し、ここで作られたピアノの多くも戦火で失われた。また戦後は大手メーカーのピアノへの買い替えが進み、現在、李ピアノは全国で8台程度しか確認されていない。

時を経て再生された緑色に輝くこのピアノは、明治・大正・昭和にかけての、横浜華僑のピアノ製造史に光を当てる一台と言える。

■ 本件に関する問い合わせ先

龍門グループ(ローズホテル横浜/重慶飯店)マーケティング部/斎藤・山根・矢野・滝口  
TEL / 045-681-2264(直通) FAX / 045-681-8445  
e-mail pr@rosehotelyokohama.com